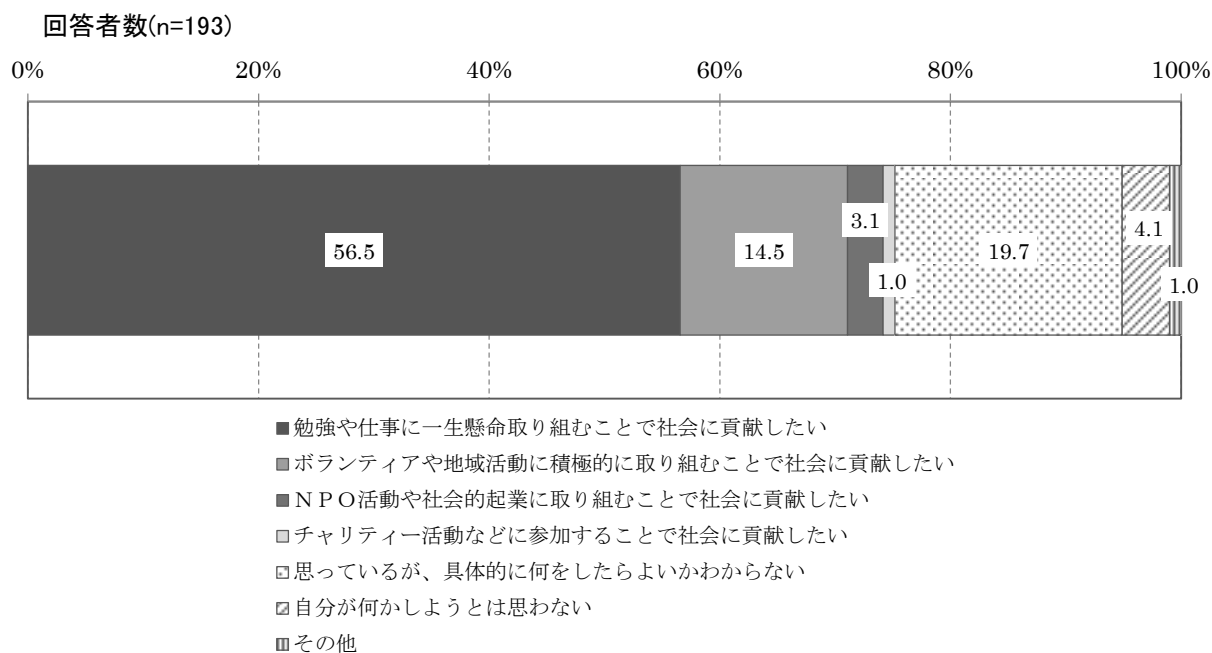


## 問10 社会への貢献

問10 あなたは、より良い未来を築くために何か社会に貢献しようと思っていますか。  
(1つだけ)

全体(図10-1)で見ると、「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が56.5%と最も高く、次いで「思っているが、具体的に何をしたらよいかわからない」が19.7%、「ボランティアや地域活動に積極的に取り組むことで社会に貢献したい」が14.5%の順となっている。

図10-1 社会への貢献



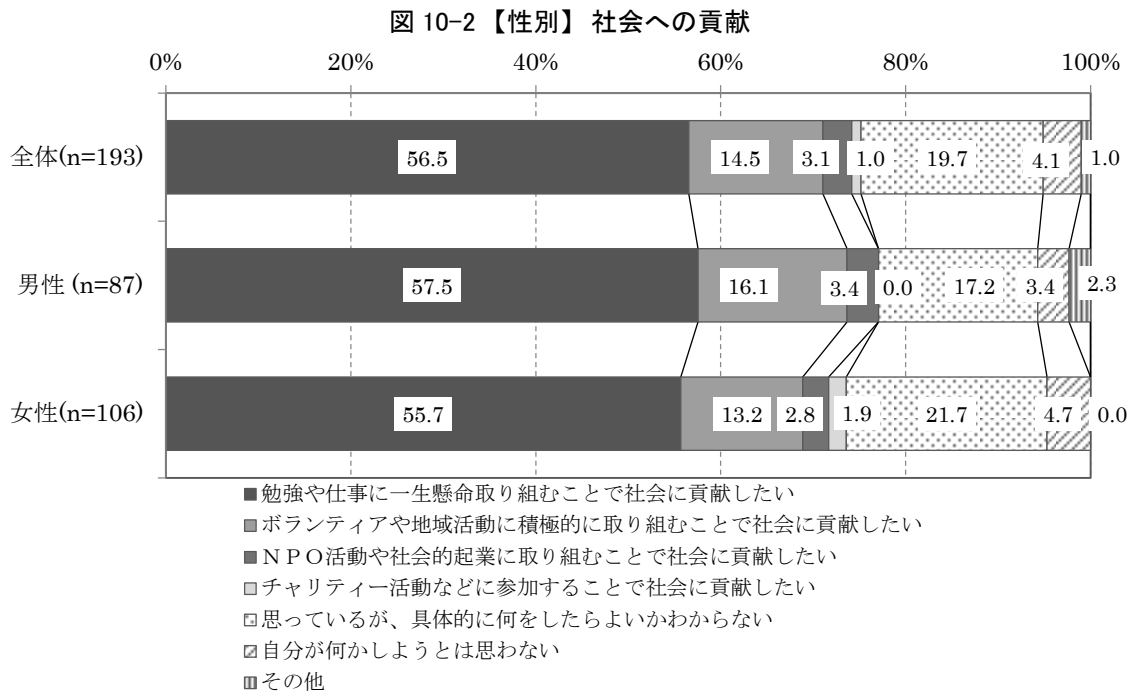
※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

- ・ NPO活動や社会的起業(社会問題の解決を目的とした収益事業としての取り組み)に取り組むことで社会に貢献したい
- ……NPO活動や社会的起業に取り組むことで社会に貢献したい

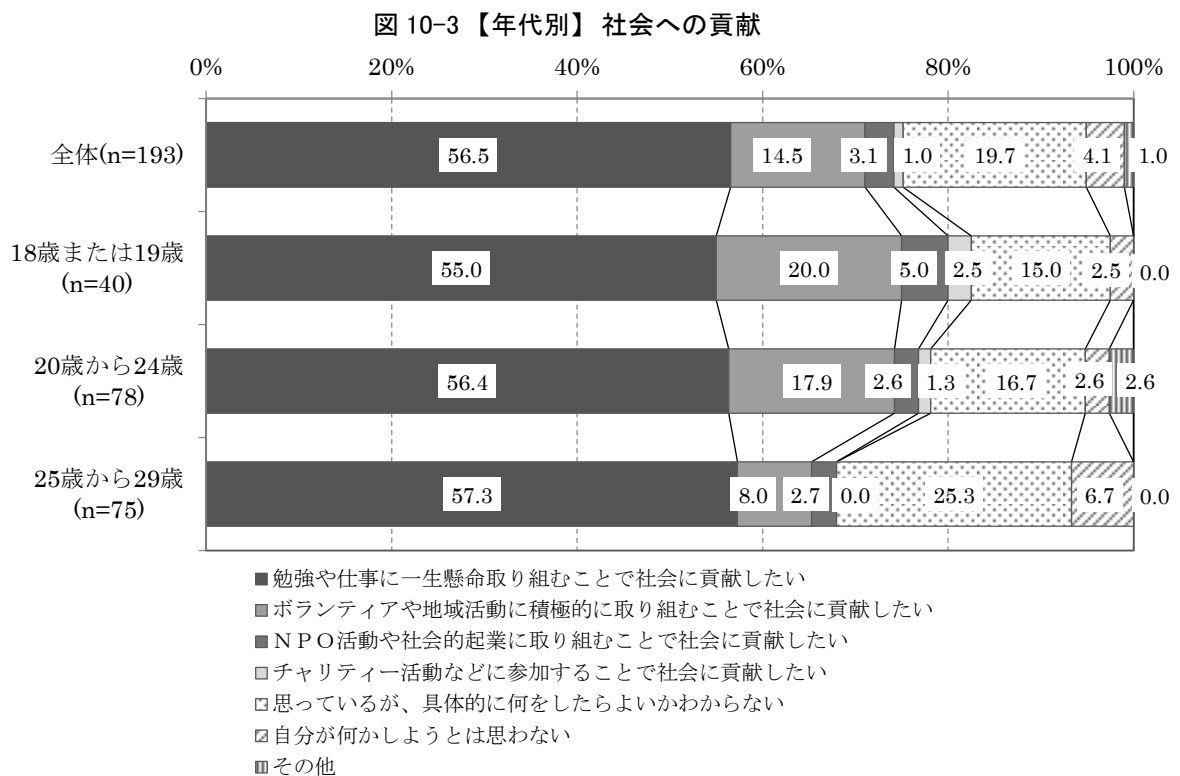
※「その他」の内容

- ・ このモニタリング制度に参加することで、意見を伝える。
- ・ 地元の市長など地方政治家。

性別（図 10-2）でみると、男女ともに「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、男性は 57.5%、女性は 55.7%となっている。また、次いで男女ともに「思っているが、具体的に何をしたらよいかわからない」が高く、男性は 17.2%、女性は 21.7%となっている。

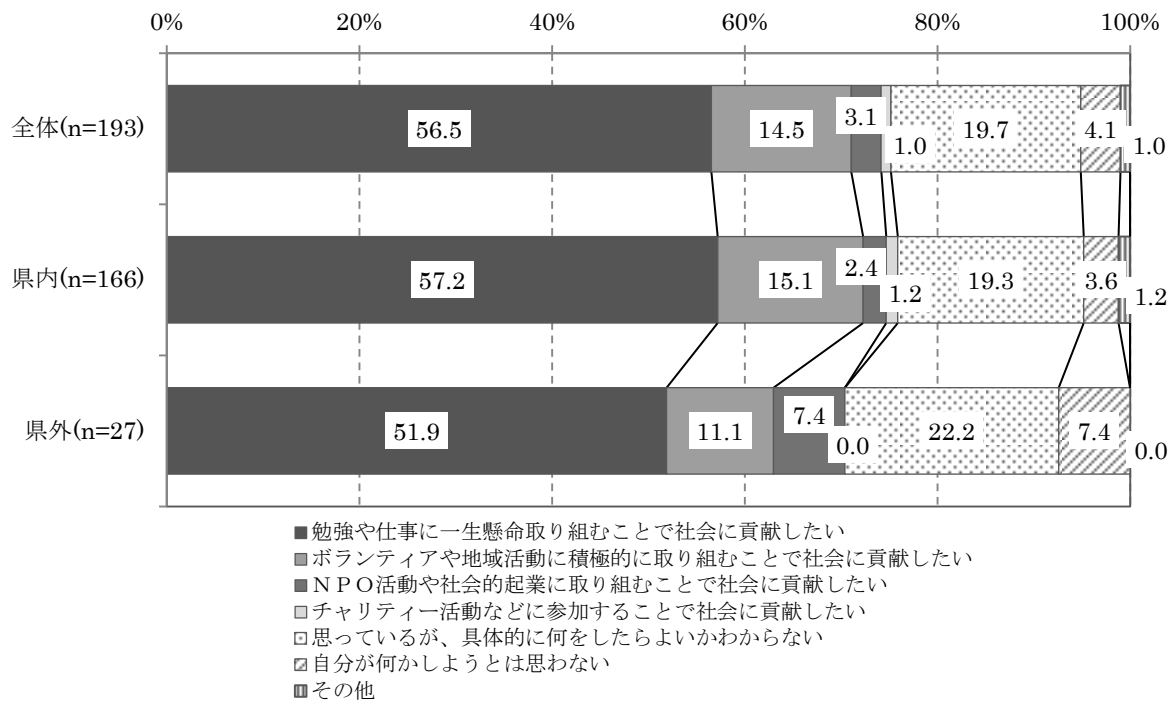


年代別（図 10-3）でみると、いずれの年代においても「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 57.3%と最も高くなっている。



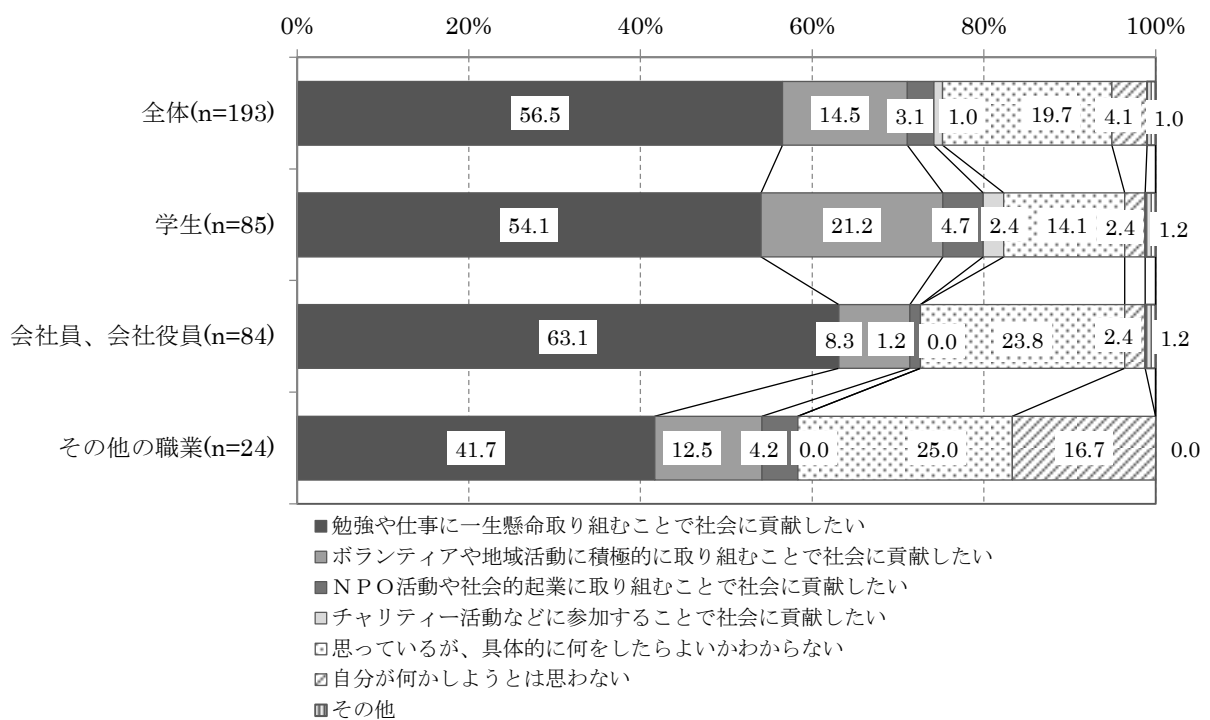
居住圏域別（図 10-4）で見ると、県内、県外ともに、「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、県内は 57.2%、県外は 51.9%となっている。

図 10-4 【居住圏域別】 社会への貢献



職業別（図 10-5）で見ると、いずれの職業においても「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 63.1%と最も高くなっている。

図 10-5 【職業別】 社会への貢献



婚姻の状況別（図 10-6）で見ると、既婚、独身ともに「勉強や仕事に一生懸命取り組むことで社会に貢献したい」が最も高く、既婚は48.5%、独身は58.1%となっている。

また、いずれにおいても次いで「思っているが、具体的に何をしたらよいかわからない」が高く、既婚は24.2%、独身は18.8%となっている。

図 10-6 【婚姻の状況別】 社会への貢献

